

ほけん通信

横瀬小学校 7年2月27日発行

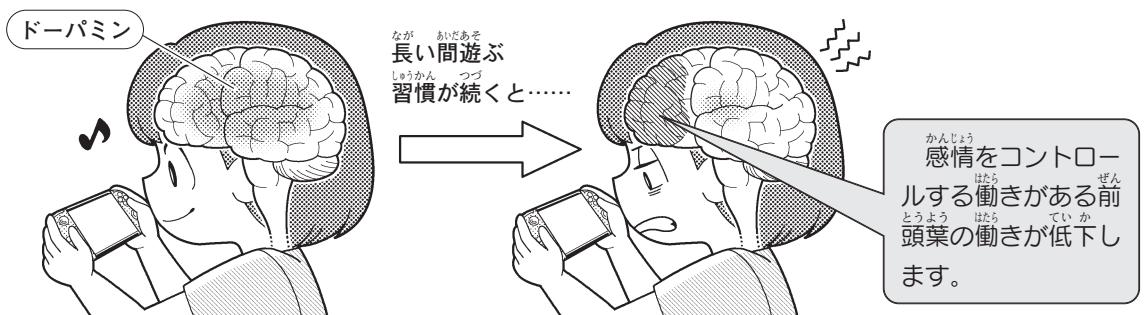
ゲームの遊び方・遊ぶ時間を見直してみよう

指導 東京医科歯科大学 精神科 助教 小林 七彩 先生

けい帯ゲームやテレビゲーム、スマートフォンやパソコンなどのオンラインによるゲームなど、メディア機器によるさまざまなゲームがありますが、時間を見つけて行わずに、長時間遊ぶ習慣が続いていると、生活リズムが乱れて体に悪いえいきょうが出るだけではなく、脳にも悪いえいきょうがあるといわれています。

なぜ、ゲームがやめられなくなるの？

ゲームをクリア（こう略）したり、目標を達成したりする中で、脳内で達成感や幸福感を感じたら「ドーパミン」と呼ばれる物質ができます。このドーパミンが多く出ることを求めて、ゲームを続けたくなりますが、ゲームを長時間続けると、ドーパミンが出にくくなる一方で、脳がより多くのドーパミンを求めるため、やめられない（い存）状態になります。



「なやみ」がゲームをやめられない原因の場合もあります

勉強についていけないことや学校での人間関係がうまくいかないことなどが原因で、ゲームがやめられなくなってしまうことがあります。自分が困っていることを振り返り、おうちの人や、スクールカウンセラー、保健室の先生、担任の先生、友人など、自分が相談できる相手を見つけてなやみを相談することも、ゲームい存の予防につながります。



こんな症状があったら注意しよう

- ① 時間を忘れて遊び過ぎてしまう
- ② いつもゲームのことを考えてしまう
- ③ ゲームで遊べないといらいらする
- ④ ゲーム以外にやる気が出ない
- ⑤ ゲームがやめられないことで、すいみんや食事が不規則になる
- ⑥ ゲームのやり過ぎによる学校のち刻や早退、欠席が増えた
- ⑦ 家族との会話がほとんどない
- ⑧ ゲームを制限されるとものや人に暴力をふるう
- ⑨ おうちの人のお金を勝手に使ってゲームをしているなど

※特に③～⑨の症状がある場合は、すぐにゲームの遊び方を見直す必要があります。

ゲームの遊び過ぎを防ぐには

① 1日の生活を振り返る

1日の生活を書き出して、1日のなかでゲームで遊んでいる時間を振り返り、多ければどうやったら減らせるかを考えましょう。

例)	0	3	6	9	12	15	18	21	24(時)
9月18日(日)	すいみん			ゲーム		すいみん			
9月19日(月)	すいみん			学校		ゲーム	すいみん		
9月20日(火)	すいみん			学校		ゲーム	すいみん		

② ゲーム以外のことにもう戦する

ゲームで遊ぶこと以外で、楽しみが持てる方法を探してみましょう。



③ おうちの人とゲームの遊び方のルールを決める



ルールとして決めること（例）

- 遊ぶ時間（〇〇時まで、〇時間だけ）
- 遊ぶ場所（リビングルームだけ、家族がいるときだけ）
- ねる時間（〇〇時にはねる）など

ルールを改善しながら少しずつ遊ぶ時間を減らして、習慣化できるようにすることが大切です。